

人工芝のゴムチップ発がん性の懸念に関する対応状況

○アメリカでの動き

アメリカにおいて、中古タイヤで作られたゴムチップ等を原料とする人工芝（の充填剤）について発がん性があると指摘されていたことから、米消費者製品安全委員会（CPSC）、環境保護局（EPA）、疾病対策センター（CDC）が共同で調査を開始することを発表。

○国内における対応

- ・厚生労働省において平成28年度に調査を実施
 - ・ゴムチップと発がん性に関する関係省庁打合せ（厚生労働省、経済産業省、環境省、スポーツ庁）
- 関係省庁の協力体制の確認、厚生労働省で実施する調査について、調査内容の検討、情報共有等を実施。

○現時点で把握している情報

- ・国内において健康被害は報告されていない
- ・安全性を確認している国内製造メーカーも存在

○今後の予定

- ・引き続き関係省庁間で情報共有を図るとともに、厚生労働省で実施する調査状況等を見ながら、対応を検討。

○問合せ先
スポーツ庁 参事官（地域振興担当）
施設企画係 山本
TEL：03-6734-3773
FAX：03-6734-3790
E-mail：takeo-yamamoto@mext.go.jp